

## 日本海大和堆周辺水域等における外国等漁船への対応状況について (令和4年漁期)

### 【漁業取締船の重点配備】

- 日本海の大和堆周辺水域は、我が国水域内にあり、いか釣り漁業、かにかご漁業、底びき網漁業の好漁場です。近年、この漁場を狙って、違法操業を目的に我が国水域に進入する外国等漁船が後を絶たず、我が国漁船の安全操業の妨げにもなっていることから、大きな問題となっています。
- 水産庁は、これら外国等漁船を放水等の厳しい措置で我が国水域から退去させており、昨年1年間に延べ582隻の中国漁船に対して退去警告を行いました。



【大和堆とは】  
日本海中央部にある楕円形をした堆(海山)で、最も浅い水域は水深250メートル前後。日本海における好漁場。



漁業取締船「鳳翔丸」

- 本年についても、水産庁は周年にわたり配備している漁業取締船に加え、我が国いか釣り漁業の漁期が始まる前の5月からはさらに漁業取締船を重点的に配備し、取締りを行っています。

水産庁による外国等漁船への退去警告延べ隻数(うち放水措置)  
6隻(0隻)※令和4年5月30日現在

### 【水産庁と海上保安庁との合同訓練】

- 5月27日に大和堆周辺水域において、水産庁漁業取締船と海上保安庁巡視船が合同で放水訓練等を行いました。



海保庁固定翼機

漁業取締船「白萩丸」

巡視船「くにさき」



巡視船「くにさき」

漁業取締船「白萩丸」

- 水産庁は、我が国漁業者の安全を確保しつつ、操業を行い得るよう、引き続き海上保安庁との連携を強化して、万全の対応をとっていきます。